

I 第31週の発生動向 (2014/7/28~8/3)

1. 伝染性紅斑については、八戸保健所管内で第26週より**警報**が継続しています。
2. ヘルパンギーナについては、弘前、上十三保健所管内で新たに**警報**が発令されました。
3. 無菌性髄膜炎については、五所川原保健所管内で第18週より局所的な発生が継続しています。

II 第31週五類感染症定点把握

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県感染症発生動向調査 TOP ページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		前週からの増減	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
小児科															0				
(90) インフルエンザ																			
(79) RSウイルス感染症				1 0.1										1 0.0	-1				
(80) 咽頭結膜熱	2	0.3	1	0.1	3	0.3			1	0.2			7	0.2	4			2	0.3
(81) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	0.1	6	0.7	54	5.4			1	0.2			62	1.5	14			1	0.1
(82) 感染性胃腸炎	18	2.3	5	0.6	3	0.3	12	2.4	3	0.5	9	2.3	50	1.2	10			18	2.3
(83) 水痘	7	0.9			2	0.2			2	0.3	7	1.8	18	0.4	-4			7	0.9
(84) 手足口病	1	0.1	6	0.7	2	0.2	1	0.2	2	0.3			12	0.3	-2			1	0.1
(85) 伝染性紅斑			1	0.1	14	1.4	2	0.4	2	0.3			19	0.5	-13				
(86) 突発性発しん	4	0.5	4	0.4	5	0.5	3	0.6	9	1.5	2	0.5	27	0.6	7			4	0.5
(87) 百日咳															-1				
(88) ヘルパンギーナ	21	2.6	56	6.2	37	3.7	1	0.2	45	7.5	3	0.8	163	3.9	52			21	2.6
(89) 流行性耳下腺炎	1	0.1	3	0.3									4	0.1	-3			1	0.1
眼科																			
(91) 急性出血性結膜炎					1	0.5							1	0.1	1				
(92) 流行性角結膜炎									2	1.0			2	0.2	1				
基幹																			
(97) クラミジア肺炎															0				
(98) 細菌性髄膜炎															0				
(100) マイコプラズマ肺炎					1	1.0					6	6.0	7	1.2	3				
(101) 無菌性髄膜炎							6	6.0					6	1.0	5				
(82) 感染性胃腸炎(ロタウイルス)									1	1.0			1	0.2	0				

は警報、は注意報。「空欄」:患者発生無し。

III 全数把握疾患(掲載数は最新情報)

- (9) 結核(二類全数把握疾患): 東地方+青森市3人、八戸6人(2014年計:198人)
- (15) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患): 上十三2人(2014年計:4人)

IV 病原体検出情報 検出情報はありませんでした。

感染症の窓

咽頭結膜熱(五類定点把握疾患)

プール熱

咽頭結膜熱は、発熱、咽頭炎(咽頭発赤、咽頭痛)、結膜炎を主とする小児の急性ウイルス性感染症で、プールでの感染も多く見られることから『プール熱』とも呼ばれます。数種の血清型のアデノウイルス(主に3型、他に4、7、11型など)により生じ、潜伏期間は5~7日です。

年齢別では5歳以下が大半を占めており、その中でも1歳以下が多い状況となっています(図1)。

平成25年(2013年)の全国における発生状況は、1月から12月まで継続して発生し、5~9月、12月に多くなりました。本県においては全国と概ね同様の推移を示しましたが、定点当たり患者報告数は全国に比べて低いレベルでした(図2)。

学校保健安全法の中では第2種の感染症に定められています(主要症状が消退した後2日を経過するまでを出席停止)。

本人の症状の回復と流行を防ぐためにも、感染の疑いがある場合には、早めに受診してください。

本疾患は夏季を中心に流行するため、今後の発生動向には注意が必要です。

感染経路は主に接触感染、飛沫感染ですが、その感染力は強力であり、タオル等患者が触れたものを触ることによっても感染する場合があります。予防としては、感染者との濃厚な接触を避ける、手指の消毒の励行、プールを介しての流行については水泳前後のシャワーの励行、タオルの共用を避けるなどが大切です。

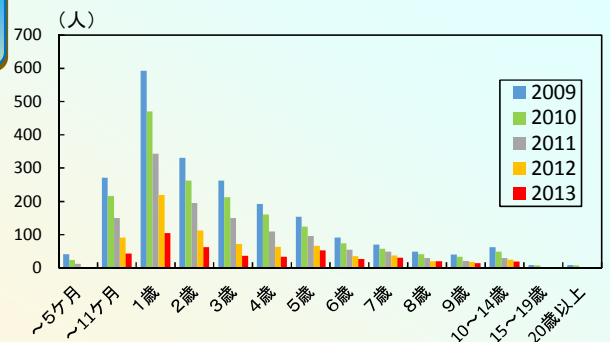


図1 過去5年間の県内における年齢別患者報告数(人/定点)

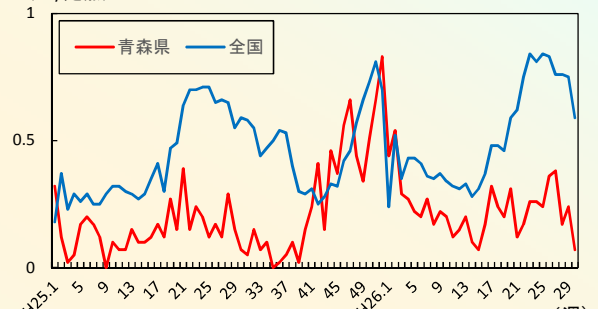


図2 定点当たり報告状況(2013年第1週~14年第30週)(週)

V 保健所管内別全数把握疾患発生状況（2014年第15週～第31週）

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
15	H26.4.7 ~ H26.4.13	侵襲性肺炎球菌感染症1人					
16	H26.4.14 ~ H26.4.20	急性脳炎1人	梅毒1人				
17	H26.4.21 ~ H26.4.27			A型肝炎1人			
18	H26.4.28 ~ H26.5.4			急性脳炎1人 梅毒1人			
19	H26.5.5 ~ H26.5.11			アメーバ赤痢1人		後天性免疫不全症候群1人	
20	H26.5.12 ~ H26.5.18		つつが虫病1人	アメーバ赤痢1人			
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	侵襲性肺炎球菌感染症1人		梅毒1人			
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	つつが虫病1人	後天性免疫不全症候群1人	破傷風1人			
23	H26.6.2 ~ H26.6.8		侵襲性肺炎球菌感染症1人	つつが虫病1人 レジオネラ症1人	つつが虫病1人		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	つつが虫病1人		E型肝炎1人 つつが虫病2人			
25	H26.6.16 ~ H26.6.22			アメーバ赤痢1人 侵襲性肺炎球菌感染症1人		つつが虫病1人	
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	つつが虫病1人					
27	H26.6.30 ~ H26.7.6		侵襲性インフルエンザ菌感染症1人		腸管出血性大腸菌感染症1人 つつが虫病1人		
28	H26.7.7 ~ H26.7.13			腸管出血性大腸菌感染症1人			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	A型肝炎1人 クロイツフェルト・ヤコブ病1人	E型肝炎1人				
30	H26.7.21 ~ H26.7.27						
31	H26.7.28 ~ H26.8.3					腸管出血性大腸菌感染症2人	

VI 結核(二類全数把握疾患) (2014年第21週～第31週)

単位：人

週	期間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
21	H26.5.19 ~ H26.5.25	3	1	1	1	2	
22	H26.5.26 ~ H26.6.1	1		1			1
23	H26.6.2 ~ H26.6.8	2	4		1		
24	H26.6.9 ~ H26.6.15	1	1	4	1	2	
25	H26.6.16 ~ H26.6.22	3					
26	H26.6.23 ~ H26.6.29	2		4	1	1	
27	H26.6.30 ~ H26.7.6	2		2	1	1	
28	H26.7.7 ~ H26.7.13	2		5			
29	H26.7.14 ~ H26.7.20	1	1	4	1	1	1
30	H26.7.21 ~ H26.7.27	2	2	3	1		1
31	H26.7.28 ~ H26.8.3	3		6			

VII 全数把握疾患発生状況(全国-青森県)

(注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています)

全国

(2014年第1週～第29週累計)

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類		
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	回帰熱	Q熱	コウジツオイス症	重症熱性血小板減少症候群	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	ブルセラ症	ポリオス症	マリア病	ライム病	
累積報告数	13773	2	54	1334	23	10	85	376	8	6	1	1	1	34	6	107	89	73	7	1	31	4	
分類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	先天性風しん症候群	梅毒	破傷風	バンコマイン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん				
累積報告数	612	7	607	143	267	80	90	145	822	36	117	21	1145	8	848	67	31	248	413				

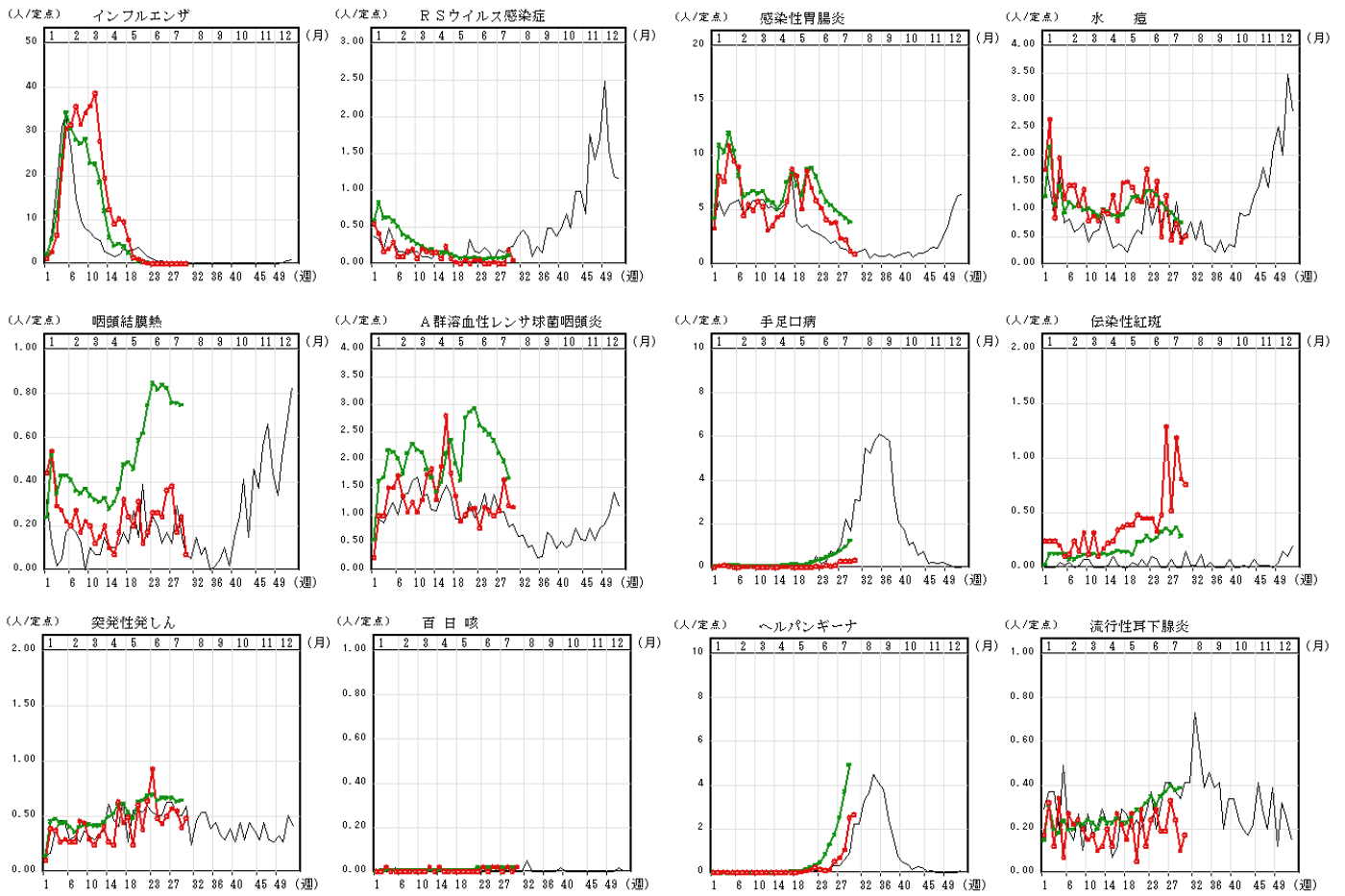
青森県

(2014年第1週～8月4日16:30累計)

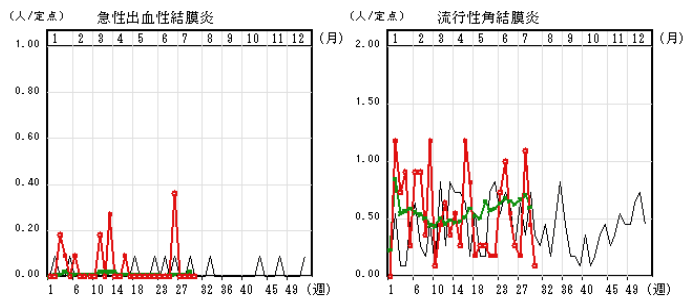
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	レジオネラ症	アメーバ赤痢	急性脳炎	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	梅毒	破傷風						
累積報告数	198	4	2	2	10	2	6	8	1	1	2	1	6	3	1						

VIII インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移 (2014年第30週)

グラフの説明 ○—○は2014年青森県、——は2013年青森県、×—×は2014年全国



IX 眼科定点把握疾患週別推移 (2014年第30週)



X 基幹定点把握疾患週別推移 (2014年第30週)

